

# ESDタイム

## 「ESDタイム」とは

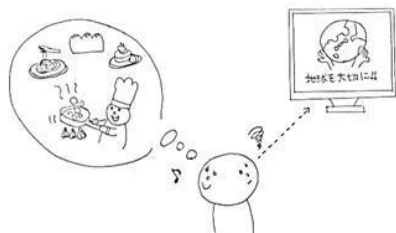
※「ESDタイム」は「総合的な探究の時間」の校内名称です。

### 自分の未来の悩み

自分はどんな仕事に向いているのだろうか？「その仕事はどんな社会貢献につながっていくのだろうか？」高校時代は自分の将来について大いに悩みます。すぐに自分だけでは決められない人もいます。いろいろな体験をして多くの人の話を参考にしたい人もいます。自分の未来を考えることは難しいことです。

### 社会の未来の悩み

地球温暖化、人口爆発、南北問題、国際紛争など、世界中には地球規模の問題が山積みです。また、少子高齢化、過疎化、空き家問題、後継者不足など、身近な地域社会にも問題は山積みです。遠くの社会、近くの社会、どこを見ても社会には困難が広がっています。果たして私たちの社会、私たちの未来は続いていくのでしょうか？



ESD (Education for Sustainable Development)

＝持続可能な開発のための教育

ユネスコが提唱する世界の教育目標。これから先も世界が「持続」していくようにするために、一人一人が問題を考えながら、みんなで協力して行動していく姿勢を学んでいきます。

「ESDタイム」では、そんな「自分の未来」と「社会の未来」をバランスよく考えながら、創意工夫でいろいろな課題を解決できるような力を身に付けるようにしています。キーワードは「**地域からの学び**」。私たちが暮らす身近な「地域」から学んでいくことで、そこに暮らす自分の未来や社会の未来を具体的にイメージしていきます。

## 1年生の「ESDタイム」＝全コース共通の「ESD基礎」

「ESDタイム」では、3年間を通じて3コースの特性に応じた授業展開を行っていますが、1年生は3コース共通の授業内容を行います。「持続可能な未来」を考えるための「基礎」を身に付ける「ESD基礎」という授業です

### 1学期 「自分の未来」を考える

まずは「自分」がどんな人物なのか？「性格・適性診断」や「人生グラフ」等を使い「自分」を知っていきます。そしてどんなことをやりたいと思っているのか自分に問うてみます。



### 2学期 「地域の未来」を考える

今暮らしている地域の「まち採点」や地域の課題解決案を考える「SDGsカードゲーム」などをしながら、自分はどんな地域に暮らしたいのか、どんな地域をつくりたいのか考えます。



### 3学期 何ができるかやってみる

自分や地域のことを考え学んだ上で、今「やってみたいこと」を実際にやってみます。やってみたことは資料にまとめて友達にプレゼン！いろいろな面白いチャレンジから刺激を受けます。



## 2年生3年生の「ESDタイム」=コースに応じた「ESD〇〇演習 I・II」

2年生からは「ESDタイム」の内容も3つのコースの特徴に応じて変わってきます。

「探究コース」では、「学生コンテスト」や「真備だっぴ」など、地域の課題に対して自分自身がどう動き出すのかを重視します。実際に地域で試行錯誤してみるのが特徴です。校内名称は「ESD探究演習 I・II」。



「総合コース」では、体験的な授業として行っている「やかげ学」と連動した内容を重視します。「やかげ学」をより効果的なものにするための準備や振り返りを重点的に行います。校内名称は「ESD総合演習 I・II」。



「地域ビジネス科」では、商店街とコラボレーションする「商品開発」と連動した内容を重視します。ビジネスの観点を活かした地域づくりや進路開拓の準備を進めます。校内名称は「ESDビジネス演習 I・II」。



## 「ESDタイム」3年間の流れ

3つのコースで「地域」との関わり方が少しずつ変わってくる矢掛高校では、「ESDタイム」の授業も下の図のように違う道筋を辿っていきます。しかし、いずれも「地域からの学び」を大切にしながら「持続可能な社会の形成者」を目指していくところは同じです。3年間、クラスメイトや先生と対話しながら、地域の方々にも教えていただきながら、自分の未来、社会の未来が少しずつ具体的に見えてくると良いですね。

	1年生	2年生	3年生
普通科探究コース	ESD基礎	ESD探究演習1	ESD探究演習2
普通科総合コース		ESD総合演習1	ESD総合演習2
地域ビジネス科			やかげ学
		ESDビジネス演習1	ESDビジネス演習2
		商品開発 やかげ学実践	